

1 体制
岩手県地域防災計画、岩手 DPAT 運営要綱、岩手 DPAT 運用計画等に基づき、DPAT の活動等について指揮及び協議等を行う。

- (1) 平時の体制
DPAT 運営委員会
- (2) 災害時の体制
- ・ 岩手県保健医療調整本部、いわて災害医療支援ネットワーク
 - ・ 岩手県 DPAT 調整本部、DPAT 活動拠点本部
 - ・ DPAT 運営委員会

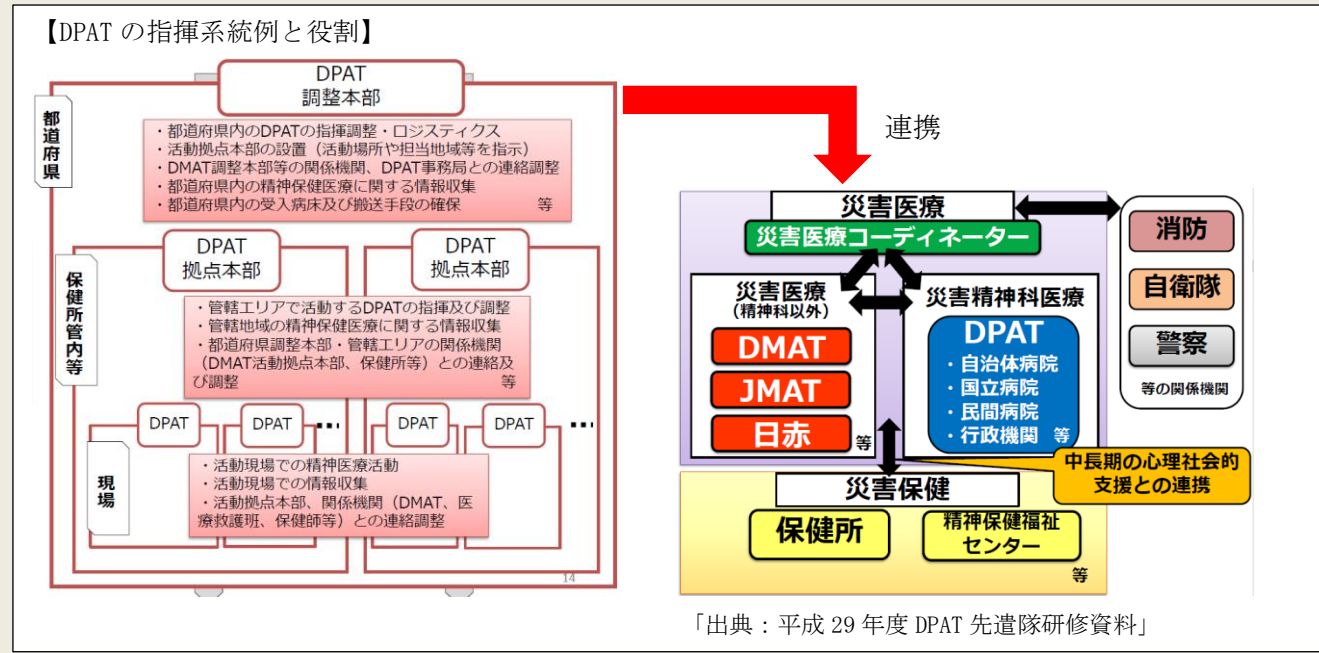
2 平時
「DPAT 運営委員会」を開催し、DPAT の運営等に関し必要な事項を協議する。

- 【所掌事務】
- ・ 岩手 DPAT の運営に関すること
 - ・ 岩手 DPAT の活動の検証に関すること
 - ・ 研修のあり方に関すること
 - ・ その他必要な事項に関すること

3 災害時

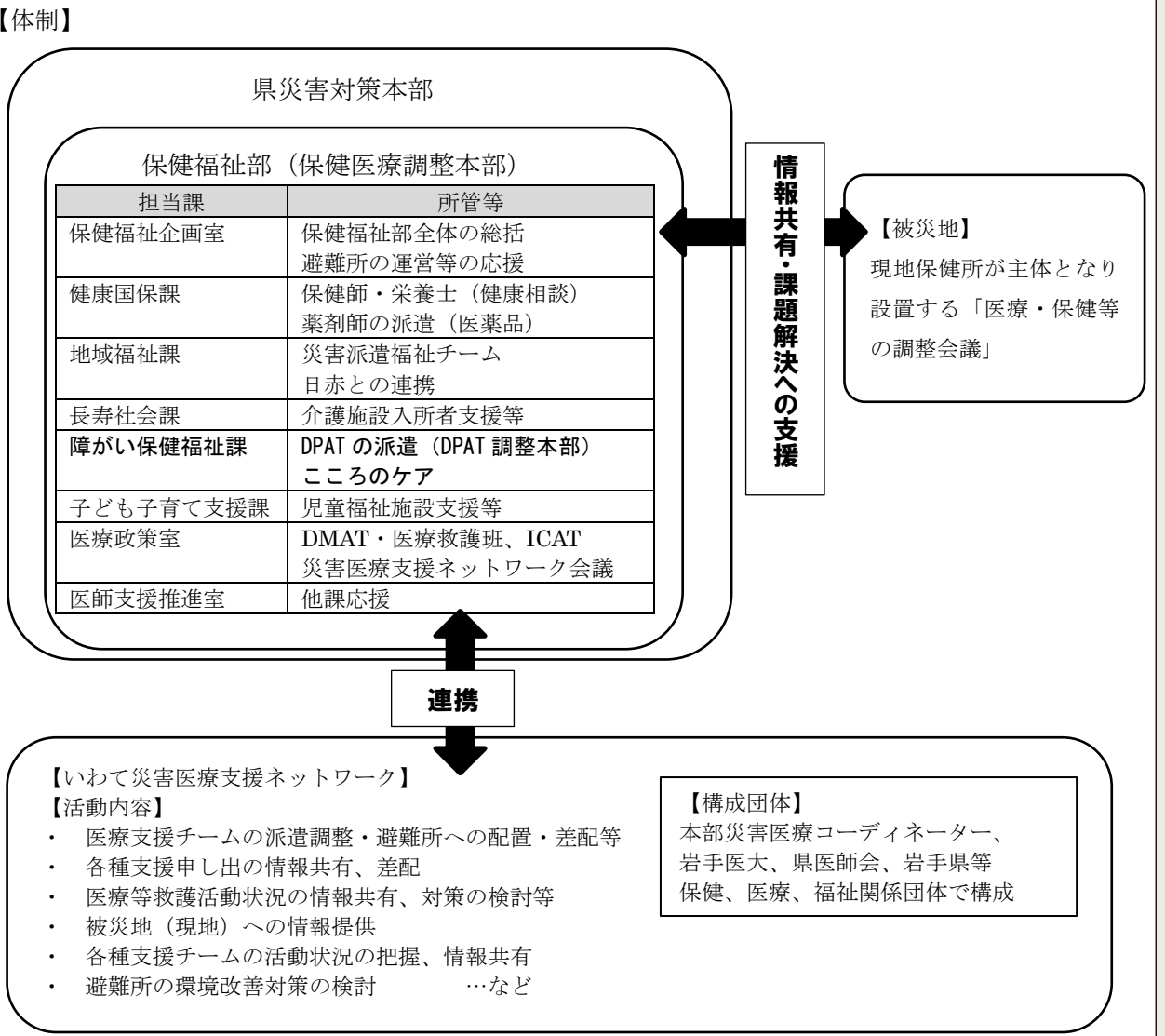
(1) 岩手 DPAT の出動検討
災害等が発生した場合、DPAT 派遣要請の有無に関わらず、災害等の状況を踏まえ、岩手 DPAT 統括者や障がい保健福祉課、精神保健福祉センターと協議し、岩手 DPAT の出動の必要性を検討する。
(※ 知事が、岩手 DPAT の出動を要請する。)

(2) 岩手県 DPAT 調整本部・DPAT 活動拠点本部
岩手 DPAT 運営要綱第 7 条の出動基準に該当する災害等が発生した場合は、岩手 PDAT 運用計画（以下「運用計画」という。）第 5 に基づき、知事が必要に応じて、県内の DPAT 活動を統括するために、県庁内に岩手県 DPAT 調整本部を設置する。また、岩手 DPAT の出動を要請した場合は、運用計画第 5 に基づき、知事が必要に応じて、被災地域の保健所圏域又は市町村単位での DPAT 活動を統括及び調整するために、原則として災害等が発生した地域内の保健所等に DPAT 活動拠点本部を設置する。
(※ DPAT 調整本部は、DPAT 出動要請調整及び派遣先調整等を行う。)



3 災害時（続き）

(3) 岩手県保健医療調整本部・いわて災害医療支援ネットワーク
大規模災害時には県災害対策本部の下に、災害対策に係る保健医療活動の総合調整を行う「保健医療活動本部」を設置し、保健福祉部長が保健・医療関連の各種支援及び調整を行う。
また、医療政策室は「いわて災害派遣医療支援ネットワーク」を設置し、被災地の要請の下、医療支援チームの派遣調整や医療機関の支援等を行う。



(4) DPAT 運営委員会
2 の「平時」に記載のとおり、DPAT の運営等に関し必要な事項を協議する。